



新人教育だより

5月第1号

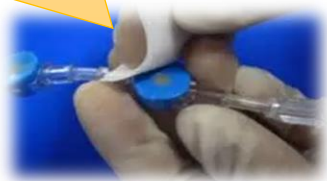
4月13・14日 ME 機器の使い方

* 研修用アンプルとバイアルで輸液の調製、JMSの方を講師にルートの説明・プライミング演習、また臨床工学技士からポンプの使い方を学びました。

輸液の調製



プラネクターのふき取りは
2回以上ゴシゴシ拭く!!



こんな指導をしています!
気泡を抜く時、ルートが傷むので
ボールペンを使わないで!



4月25・28日 リスクマネジメント・血糖測定インスリン演習・看護記録

講師: GRM 大谷師長、富澤副師長、薬剤師大石さん

* 基本的な患者確認法、調製前確認、イラスト KYT、コミュニケーション等について学びました。

クローズドクエスチョン・オープンクエスチョンを使った演習



SBARを使った報告を考えてみました

SBAR

~効果的に情報伝達する時のコミュニケーションテクニック~

- Situation : 自分の所属 名前
<状況> 患者名と場所、患者の症状、状態
何が、どれくらい問題なのか
- Background : 入院時の診断名、入院後の経過
<背景> 現在のバイタルサイン、精神状況、皮膚の状態
投与薬剤、アレルギー情報など
その他、背景情報と思われるもの
- Assessment : 問題に対する、自分の評価を伝える
<評価> 確定的な評価を下す必要はない、不安なこと、可能性として
心配なこと、何かしらの対応が必要かどうか
- Recommendation: 処置、検査、移動など必要と思われることを提案する
<提案> 問題の解決策を提案する、やって欲しいことの要望を出す
何かしらの対応が必要であれば、対応を要請する

薬名が同じようで違う! 成分量、製剤量の違いについて



* 血糖測定とインスリン注射の演習

講師: 日本糖尿病療養指導士

インスリン注射



血糖測定



* 看護記録

講師: 記録委員会委員長

講義内容の多くは記録マニュアル第15版にも書かれており、新人に配布していますので、指導の際はぜひマニュアルを参考にしていただけたいと思います。

ご不明な点は新人教育担当まで